

南部包括として取り組んだ 「地域課題」について

令和6年2月1日

桑名市南部地域包括支援センター

南部包括がR5年度に特に地域課題 として取り組んだのはこれ！

〈目次〉

1. 困難ケースの対応

2. 認知症対策

3. コロナ禍で不足した交流の機会

1. 困難ケースの対応

2. 認知症対策

3. コロナ禍で不足した交流の機会

1. 困難ケースの対応

南部包括の全体相談件数 R3年2,355件 R4年2,643件 R5年2,146件(12月現在)

困難ケースの相談数 R3年322件 R4年494件 R5年373件(12月現在)

割合 13.6% → 18.6% → 17.3%

内訳(延べ)

	家族関係	認知症	支援拒否	養護者	低収入	身寄なし	成年後見	債務浪費	精神的	共依存	虐待	クレーム	依存症	犯罪	ダブルケア	環境	病気障害
R3年度 (R3/4/1~ R4/3/31)	43	62	102	92	139	88	19	160	199	38	62	33	24	3	5	81	67
R4年度 (R4/4/1~ R5/3/31)	240	237	38	5	70	99	1	217	84	60	91	6	45	7	3	63	137
R5年度 (R5/4/1~ R5/12/31)	64	91	57	0	50	96	40	143	84	58	120	16	7	24	0	43	75
合計	347	390	197	97	259	283	60	520	367	156	273	55	76	34	8	187	279

第1位 債務浪費

第2位 認知症

第3位 精神疾患

内容は様々で
複合的な課題
が多い！

家族関係

養護者

ダブル
ケア

認知症

虐待

精神障害
知的障害

犯罪

身寄り
なし

成年後見

環境

病気障害

共依存

支援拒否

低収入

クレーム

債務浪費

依存症

本人要因

病気
認知症
経済的

社会的要因

身寄りなし
近隣と関係悪化
社会資源の不足
制度にかからない

家族要因 (介護者、養護者)

関係が悪い
虐待
支援者が病気
経済的問題



困難ケース事例の相談内容



●Aさん88歳女性、一人暮らし、子供は音信不通。突然動けなくなり救急搬送されるも認知症から質問に答えられず生活実態が把握できない。

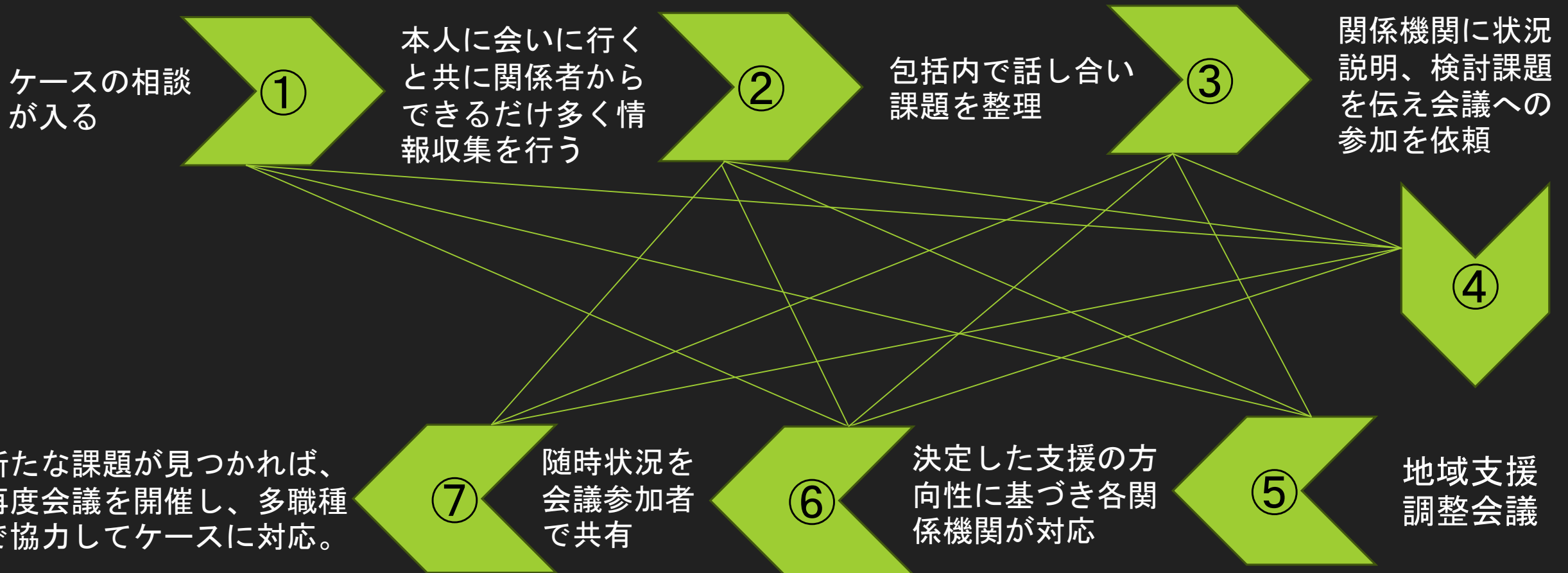
●Bさん82歳男性 息子と2人暮らし。アパートの家賃の滞納が続き大家からこのまま家賃を支払わないと退去してもらいますと話がでている。本人は何度言っても息子の給料と年金をパチンコで費やしてしまう。家賃の支払い期限は1週間後。

●Cさん78歳女性 娘と息子と3人暮らし。娘と息子は精神疾患があり引きこもり。父親の遺族年金と母親の年金で暮らしていたが突然母親が倒れ入院となった。

●Dさん91歳男性 妻と2人暮らし。近隣から「外から見てもゴミで溢れている。様子を見てきてほしい」と電話が入る。訪問すると異臭のする部屋で動けなくなっている。声をかけるが大丈夫と救急搬送を拒否。救急車がきても乗らないからと言っている。

●Eさん72歳女性 同居の長男からの暴言を聞いたと担当ケアマネから相談。訪問するが全くそんな素振りも見せない。本人はおびえた表情を見せる事が増えていき時々アザも見られている。

困難ケースの対応の流れ



今後の課題

- ・ 家族や近隣地域との関係が希薄となっており支援者が不在のケースが増えている。
- ・ 支援にあたる家族や親族が障害があるなど複数の要因が絡み合っていて、事例を困難化させている。
- ・ 中には犯罪などが隠されている事があり、警察や法律職など包括以外の専門職の介入が必要となっている。



**困難ケースと言っても内容は様々。
限られた時間で少人数で対応して
いくことは、限界がある**

今後の対応

本人支援

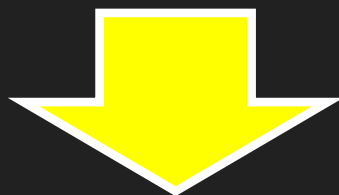
地域支援



関係者支援

(ケアマネ、病院
サービス事業所等)

家族(親族)支援



重層的支援体制の構築

1. 困難ケースの対応

2. 認知症対策

3. コロナ禍で不足した交流の機会

認知症施策の柱

認知症の人を含む高齢者にやさしい
地域づくり

認知症の容態に応じた適時適切な
医療・介護等の提供

認知症施策



○普及啓発

「認知症サポーター養成講座」
「認知症ステップアップ講座」開催

○介護者への支援

「オレンジカフェ」の開催・整理

○認知症バリアフリーの推進・ 若年性認知症の人への支援

「チームオレンジ」の推進

○予防

初期集中支援の充実
通いの場の充実

○医療・ケア・介護サービス

多職種連携研修会の開催
くわな認知症安心ナビ
(認知症ケアパス)の更新

地域課題



誰もが「認」め合い
正しく「知」ること
そうすれば、「壁」も「障害」
も無くなるはず

若年性アルツハイマー型認知症
当事者 さとうみきさんより

- 認知症に起因する総合相談の増加
- 認知症についての知識・理解不足
 - 近隣住民から「あの人が認知症かも・・・」の相談があり、「認知症になったら施設に入るしかないわね」との発言あり。
 - 認知症は高齢の方だけだと思っていた（益世小学校での認サポのPTAの感想より）
- 認知症の対応の仕方がわからないという相談も多い。
- 認知症になっても安心して住み続けられる地域が少ない？
 - 周囲の理解がなく、介護者が疲弊している現状がある

2.認知症対策への取り組み

- ①認知症の理解を深めるために普及啓発
- ②地域で継続的にオレンジカフェを開催
- ③「チームオレンジ」の推進

①認知症の理解を深めるために普及啓発

「認知症サポーター養成講座」

小・中学校 キッズサポーター養成講座開催

PTA授業参観にて親子で認知症についての理解を
してもらおう（益世小4年・6年、日進小4年）

今年も毎年恒例！小学校4年生の皆さんに

「ロボマスコット」を地域の住民さんに作成して
もらいました3地区で200個作成



認知症の理解 「認知症世界の歩き方」

認知症のある方が生きる世界を知り、対話を通して認知症について理解し対応の仕方を考える

2月にも民生委員など地域住民にむけて行う予定



認知症ステップアップ講座



申込フォーム
またはFAX、電話
でお申し込み下さい。

認知症のある方が本人の視点を学ぼう！

認知症世界の歩き方

日時… R6.2/29(木) 13:30~15:00
開催場所… はまぐりプラザ3階大研修室
対象… 民生委員、地域住民の方

FAXでお申し込みの方

氏名	連絡先	
〈当てはまるものに○をつけてください〉		
1. 民生委員	2. 地域住民	3. その他()

◆お申込み・お問い合わせ先
東部地域包括支援センター(TEL)24-8080 (FAX)23-6850
南部地域包括支援センター(TEL)25-1011 (FAX)25-1155

②地域でオレンジカフェを開催

～認知症ステップアップ講座修了者が活躍の場に～

走井山公園

桜満開の中の屋外でのオレンジカフェ開催
認知症の夫の介護をしている方が夫婦で参加された、住民さんに絵本を呼んでもらったり、飛び入りで近くの親子も参加



喫茶心響（ここね）

喫茶店で懐かしいクラシック音楽を聴きながらのオレンジカフェ開催
ボランティアでしめ縄を使った小物づくりがしたい→定期で通いの場に



③ 「チームオレンジ」の推進

～「南天の家」ができるまで～



- ・娘より相談「認知症の母のために自宅を提供し楽しく過ごせるなじみの場所を作りたい」
- ・認知症の母親（A子さん）を持つ家族、近所の方や友人、生活支援コーディネーター、ケアマネ、事業所、包括で集まり話し合い（認知症ステップアップ講座）
 - 「オレンジカフェ」をやってみようということになる
- ・近所の方もたくさん参加してエレクトーンに合わせて楽しく歌ったりおしゃべりして過ごす
- ・その後、毎月オレンジカフェを開催している
- ・時にはAさんが近所の方のお宅に行って困っていることを相談でき関係性、包括にも相談あり
- ・自然に「チームオレンジ」ができている



コミュニティハウス縁

～ご縁でつながる交流の場～

地域交流
憩いの場

カフェ的
空間

フリー
スペース

イベント

個人利用

地域の誰でも集える憩いの場所となっている。認知症の方の参加もあり何か心配なことを相談したり、状況の見守りをして包括とも情報共有をしている

自然に「チームオレンジ」ができていた



1. 困難ケースの対応

2. 認知症対策

3. コロナ禍で不足した交流の機会

桑名市日常生活圏域ニーズ調査「いきいき・くわな」報告書から 令和4年度報告（R5.3月）

南部圏域の高齢者率

	南部(日進地区)	南部(益世地区)	南部(城南地区)	桑名市
人口	5801人	7888人	8494人	138986人
高齢者数	1601人	2198人	2053人	38055人
高齢者率	27.6%	27.8%	24.1%	26.5%

ニーズ調査項目該当者の割合（%）

	南部圏域	桑名市全体	桑名市 日常生活圏域別 (南部圏域)
認知機能の低下傾向	34.4%	35.3%	5位
閉じこもりリスク	5.9%	6.2%	5位
運動器機能低下リスク	17.2%	14.6%	2位
転倒リスク	29.1%	27.8%	2位
うつ傾向	14.9%	16.8%	6位
知的能動性の低下傾向	43.8%	42.8%	3位
口腔機能の低下傾向	20.2%	19.5%	3位

地域課題



3. コロナ禍で不足した交流の機会、通いの場の充実、つながり

- ・ ニーズ調査から南部圏域は運動器機能低下リスク、転倒リスクが高め。

コロナで...

- ・ 通いの場が休止になり、閉じこもり傾向がみられるようになった。
- ・ 近隣の友人と話す機会が減った。（高齢者の孤立）
- ・ 外出自粛、旅行に出かけることができなくなり、楽しみが減ったという声が届く。
- ・ 感染予防（マスク着用、手指消毒、距離）をしているが行動制限もあり不自由なことが多い。
- ・ 近くに集まれる場所を作りみんなで楽しく過ごせる時間をつくる。

3. コロナ禍で不足した交流の機会・通いの場の充実、つながりの取り組み

- ①介護予防、フレイル予防（健康課題の意識づけ、健康寿命の延伸
「桑名を知ろう！ノルディックウォーキングの開催」
- ②高齢者の社会的孤立の防止と人とのつながり、居場所を作る
近くに集まれる場所を作りみんなで楽しく過ごせる通いの場
- ③R5年度コロナ禍でできていなかった交流・つながりが再開

①介護予防、フレイル予防（健康課題の意識づけ、健康寿命の延伸）

「桑名を知ろう！ノルディックウォーキングの開催」

（生活支援コーディネーターを中心に市役所保健医療課の協力のもと開催）

*屋外スポーツなのでコロナ禍でも「介護予防」としてできる。



R3年度

城南地区で外部講師を招いて3日間のノルディックウォーキング体験

運動習慣がなかったがノルディックウォーキングをすることで運動習慣が増えたとの声があがった

「キートス城南」の通いの場が誕生



R4年度

城南地区に加え益世地区、日進地区にも外部講師を招き3回シリーズのノルディックウォーキング体験会を実施

「益世ノルディック」「ノルディック日進」の通いの場が誕生



R5年度

3地区合同で交流会を実施しそれぞれの地域を知ることやお楽しみ情報交換、外部講師による実技演習を行²⁴

その後、各地区での「わくわくウォーキング」実施しそれぞれの地域を参加者と歩いた。参加延べ人数113人

わくわくウォーキングの様子



②近くに集まれる場所を作りみんなで楽しく 過ごせるいろんな形の通いの場

「すこやか体操」通いの場づくり

(生活支援コーディネーター、市役所保健医療課と協働して体操会の立ち上げ)

こんな方にお知らせです！

最近足腰の衰えを感じるの！

健康づくりのために何かしたい

お手軽に運動できないかな？

明園寺クラフ
に参加しませんか！！

開催日	毎週月曜日
時間	午前 9:00 ~
場所	明園寺境内 (西側屋町16)

内容 桑名いきいき体操

★雨天による中止は自己判断をお願いします。
誰も集まっていなければ中止です。
★水分やタオルをご持参ください。

合衆、アレイルを予約するためのポイントが、多く集んでいくことで、「実際に参加すること」「社会参加すること」の三位一体が大切と言われてます。みんなを楽しく体操をして予約に繋がっていきましょう！

お気軽に！どなたでも大歓迎！
お気軽に来て！楽しく体操づくり！！



新屋敷体操

大貝須集いの場



アトム公園体操

ふくふくならう会



③コロナ禍でできていなかった交流・つながりが再開

R5.5.31 東部包括×南部包括 ケアマネ交流会

「インフォーマルフェスタ」～FOODを添えて～生活支援コーディネーターからインフォーマルサービス紹介

R5.9.14 南部包括×東部包括 民生委員とケアマネ交流会

それぞれの役割を知り協力できる関係づくり、連携を深めるきっかけとなった

R5.10.26 「日進ふれあいのつどい」 R5.11.10 「城南福祉のつどい」

南部包括から「元気に毎日を送るための秘訣&詐欺被害にあわないために」の講話と寸劇



インフォーマルフェスタ



民生委員×ケアマネ交流会



日進ふれあいのつどい



城南福祉のつどい

結果・効果



- ①認知症の普及・啓発として小中学校の子供たちのみならずPTAの親に向けても啓発でき理解が深まったのではないかと思います。
- ②認知症ステップアップ修了者が積極的にオレンジカフェや認サポの手伝い、地域の行事に参加してもらえた。認知症があってもなくても気軽に立ち寄れる居場所づくりができた。
- ③生活支援コーディネーターを中心として介護予防、フレイル予防のためにノルディックウォーキングを進めて南部圏域全体にノルディックの通いの場ができた。また、市役所保健医療課と協働して歩いて行ける所に体操ができる場所作りを進めた。
- ④コロナ禍でできていなかった交流・つながりが再開して、地域の方や民生委員、ケアマネジャーや事業所など様々な方々と交流会ができた。交流をすることで連携できるきっかけづくりができたと思う。

今後の方針



- ①認知症について幅広い世代に向けて普及・啓発をしていく。認知症の理解をわかりやすい形で発信できるように努めていきたい。
- ②「共生」の地域づくりを目指していきたい。「チームオレンジ」の活躍を支援していく。
- ③認知症があってもなくても気軽に立ち寄れる居場所づくりを進めていくこと、認知症ステップアップ修了者の方が積極的に地域で活躍できる場が持てるように支援していく。
- ④今後も生活支援コーディネーターや多職種と協働して生活支援体制の整備を進めていく。
- ⑤地域住民との交流やつながりを継続、広げていけるよう支援していく。

2023 夏号 NO.34 南部包括だより

こんにちは。本格的な夏を迎え暑い毎日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。脱水症・熱中症予防のために水分補給やバランスのよい食事、睡眠(休息)をとって元気に夏を乗り切りましょう!

熱中症予防 ①水分補給 ②暑さを避けること

☑ 予防法ができているかをチェックしましょう

<input type="checkbox"/> エアコン・扇風機を上手に使用している 	<input type="checkbox"/> 部屋の温度を測っている 	<input type="checkbox"/> 部屋の風通しを良くしている 	<input type="checkbox"/> こまめに水分・塩分を補給している 
<input type="checkbox"/> シャワーやタオルで体を冷やす 	<input type="checkbox"/> 暑い時は無理をしない 	<input type="checkbox"/> 涼しい服装をしている 外出時には日傘、帽子 	<input type="checkbox"/> 涼しい場所・施設を利用する 
<input type="checkbox"/> 緊急時・困った時の連絡先を確認している 			

さらに → 気をつけるべきポイント
 のどが潤いていなくても **こまめに水分・塩分を補給**しましょう

1日あたり **1.2L(約6杯)**を目安に

● 1時間ごとにコップ1杯
 ● 入浴前後や起床後もまず水分・塩分補給を

※水分や塩分の摂取量はかかりつけ医の指示に従いましょう。

夏バテ予防におすすめ簡単レシピ

豚しゃぶサラダ

材料(1人分)
 サニーレタス 1枚(20g)
 わかめ 20g
 豚薄切り肉(しゃぶしゃぶ用) 80g
 たまねぎ 1/4コ
 ごまドレッシング 適量

作り方
 ① ちぎったサニーレタスを数く
 ② 水で戻したわかめ ゆでた豚肉 スライスした たまねぎを盛る
 ③ ごまドレッシングをかけて完成

①ちぎったレタスと水で戻したわかめを皿に盛り、豚しゃぶ(うす切りの豚もも肉をゆでたもの)と薄切りにしたたまねぎを乗せ、市販のドレッシングをかけるだけで完成。

※豚肉にはビタミンB1が多く含まれ、さらにわかめにはミネラルが多く含まれているため、発汗で失われやすいミネラルが補給できます。

地域の取り組み

ノルディックウォーキング3地区で継続中



【ノルディックウォーキングの効果】

- ①ボールを持つと、姿勢が良くなる。
- ②姿勢が良くなると、歩幅が広がる。
- ③2本のボールで、バランスが安定します。
- ④自然と、歩くスピードが速まります。

*仲間と一緒に歩くと効果がアップします。
 *話す+運動で二つの事を同時に行うので認知症予防にもつながります。

- 城南地区:月1回第3月曜日 9:00 ~
城南まちづくり拠点施設集合
- 日進地区:毎週土曜日 8:30 ~
傳馬公園集合
- 益世地区:月1回第4月曜日 10:00 ~
益世まちづくり拠点施設集合

*時間等変更になる事もありますので、包括に確認してください。



オレンジカフェを開催しました

走井山公園 4/3

桜満開の中、絵本の読み聞かせなどして楽しい時間を過ごしました。可愛い子供たちも参加し、元気パワーをいただきました。



9月は世界アルツハイマー月間です

1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)が、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と推定し、この日を中心に認知症の啓発を実施しています。また9月を「世界アルツハイマー月間」と定め様々な取り組みが行われています。

編集後記

いつも包括の活動にご協力いただきありがとうございます。健康寿命を延ばすために、いろいろな取り組みが各地区で実施されています。地域で声を掛け合って、住みやすい地域になるように、包括はこれからも一緒に活動していきます。認知症になっても、住み慣れた地域で安心して過ごせるように皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

森名市南部地域包括支援センター

☎ 25-1011
FAX 25-1155

南部包括だより

新年あけましておめでとうございます。
 昨年も大変お世話になり、ありがとうございました。
 普段の小さな幸せを大切にこれからも皆様と共にあたたかい町づくりに
 励んで参ります。
 本年もどうぞよろしくお願いたします。



2024
 新年号
 No.35

Q 認知症ってどんな病気ですか？

A. 認知症とはさまざまな原因で脳が障害を起こし、働きが悪くなったために記憶力や判断力などが低下してしまう事。その為、生活するうえで支障をきたし、それがおよそ6か月以上継続している状態をいいます。

朝ごはん何食べたか忘れる



加齢による物忘れ



朝ごはんを食べたこと自体を
 忘れてる



認知症による物忘れ

認知症チェックシート

もっとも当てはまる番号を
 記入してみましょう



まったくない たまにある 頻繁にある

1 2 3

- 物を置いた場所が分からなくなることがある
- 数分前に聞いた話を思い出せないことがある
- 話のつじつまが合わないことがある
- 今日が何月何日かわからなくなることがある
- 言おうとする言葉がすぐ出てこないことがある
- お金の勘定をまちがう
- 日課や趣味のことをしなくなった
- 意欲がなくぼんやりしている
- 家電や道具の使い方が分からなくなった
- 怒りっぽくなったと感じる

結果

③が3個以上

かかりつけ医または専門医
 に相談してみましょう

③が3個以下

何か気になる症状があれば早めに
 受診するようにしましょう

藤川サトリウム病院 小松弘幸医師監修

認知症になっても住み慣れた我が家で、安心して暮らすことができるって素敵ですね。そのために、何ができるか一緒に考えてみませんか？まずは認知症について正しく理解することがとても大切です。南部包括ではご希望があれば認知症サポーター養成講座を開催しています。ご興味がある方はいつでもご連絡下さい。



「サービス付き高齢者向け住宅 蔭月」にて西部包括と
 合同で認知症サポーター養成講座を開催しました。
 スイート職員さん民生委員さん、自治会など参加して
 一緒に認知症の理解を深めました。

令和5年度後半 南部包括の取り組み

ノルディックウォーキングを3地区それぞれの場所で
 合同で開催する企画を立てました！

健康のための一歩を
 踏み出そう！



それぞれの地区のいい所を紹介！

題して「桑名を知ろう!!あなたの地区の自慢のコースを教えてください」
 どの地区も隠れたいところがたくさんありました。

ノルディックで健康づくり!!
 当日参加者の方に城南地区の
 「藤芸-TOUGEI-」さんから
 素敵な記念品を頂きました。



「健康と詐欺防止について」をテーマに寸劇を交えて話をしました。
 寸劇では地域の住民さんに参加をしていただき盛り上がりました。



■日進ふれあいの集い

■城南福祉の集い

東部包括と合同で民生委員×ケアマネ交流会を
 開催しました。

ケアマネのお仕事を寸劇で伝えたりグループに分かれて
 お互いの仕事について話し合うことができました。



今年9月に入りました、
 保健師の三木です。
 よろしくお願いたします。



桑名市南部地域包括支援センター

住所 三重県桑名市江場 776-5
 TEL 0594-25-1011
 FAX 0594-25-1155
 対応時間 月曜日～土曜日 8:30～17:30
 ※日曜、祝日、年末年始 12/30～1/3 専断
 MAIL ① k-nanbuhoukatsu@rice.ocn.ne.jp
 ② nanbukuwans @gmail.com

ご清聴ありがとうございました

